

# 基盤地図情報作成検査ツール バージョン 1.33 更新記録

2009/09/30  
有限会社ジオ・コーチ・システムズ  
<http://www.geocoach.co.jp/>  
[info@geocoach.co.jp](mailto:info@geocoach.co.jp)

## 1. DLD-DEM-XML作成

[基盤地図情報]-[DLD-DEM-XML作成]で、参照するDEM(.txt)ファイルの形式を追加しました。またDEM(.txt)のファイル名が図郭名+アンダーバー+任意の文字列+.txt になっている場合に対応しました。

### DEM ファイル(.txt)フォルダ(入力)

元になるDEMデータファイルのフォルダです。DEMデータファイルの拡張子は".txt"で、内容はCSV形式で、数値をカンマ(,)で分けます。ヘッダー行はなく、1行目からデータです。

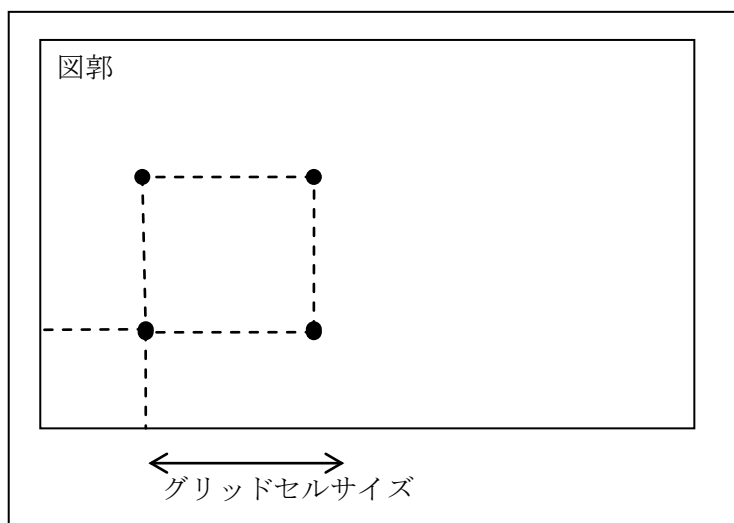
列	型	内容
1	実数	数学座標の X(平面直角座標系のメートル)
2	実数	数学座標の Y(平面直角座標系のメートル)
3	実数	標高値(メートル)

あるいは次の形式で、どちらの形式かは「DEMファイル(.txt)のフォーマット」で指定します。

列	型	内容
1	整数	任意の整数(プログラムからは参照しません)
2	実数	数学座標の X(平面直角座標系のメートル)
3	実数	数学座標の Y(平面直角座標系のメートル)
4	実数	標高値(メートル)

ファイルは地図情報レベル 2500 の図郭別で、ファイル名は図郭名になっている必要があります。例「09MC062.txt」あるいは図郭名の後にアンダーバー「\_」と文字列が付いている場合、アンダーバー直前までを図郭名とします。例「09MC062\_5g.txt」。図郭名称の大文字小文字は問いません。

DEMデータの点の間隔は、ダイアログで指定するグリッドセルサイズと異なっている場合、エラーメッセージを表示し、処理が止まります。左下のDEM点は図郭の左下からグリッドセルサイズの半分だけ離れている必要があります。



### DEM ファイル(.txt)のフォーマット

元のDEMデータのフォーマット(CSV形式の列の構成)を指定します。「X,Y,Z」は数学座標のX、数学座標のY、標高値の列順です。「N,X,Y,Z」は任意の整数、数学座標のX、数学座標のY、標高値の列順です。